

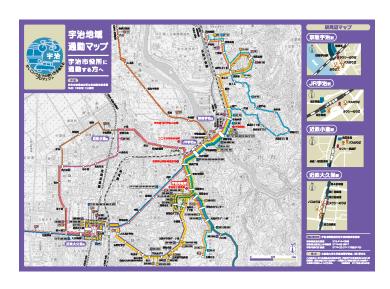
JCOMM 2015 MMとデザイン















平成27年7月25日 京都府建設交通部 村尾 俊道



なぜデザインなのか

- どんなに良いことをしていても、<u>手に取って</u>もらわなければ、<u>知って</u>もらわなければ
- <u>選ばれる交通モード</u>にする(21世紀の乗り物)

モード

- インフラであるなら<u>質の高い空間</u>(居心地の良さ)、 地域の誇りにする
- ⇒ これらを実現する<u>一番合理的なやり方</u>、 それがデザインを整えること
- 政策としての意思・メッセージ
- 担当者が必要な経費という認識を持つ
- 相談できるデザイナー・大学(存在・地位)

職場MM(2005) かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト宇治

- 〇目的: 中心市街地に集中する通勤車両の整序
- **〇実施体制**: 宇治地域通勤交通社会実験推進会議

(国·府·宇治市·商工会議所·地元企業·交通事業者·NPO)



〇実施内容:

①ワンショットTFP(9/12配布~9/16期<u>降)</u>

宇治地域の事業所の全通勤者(約5000人)に情アンケートを"one shot"で実施(通勤マップ・冊子・

どんなに良いことをやっていても、 それを知ってもらわなければ意味 がない

- ②Webを活用したTFP(参加 236名)
- ③かしこいクルマの使い方を考える講演会 (9/4)開催)

行政向け研修(昼間)と企業向け講演会(夜)(参加150名) (講師:東京工業大学 藤井聡助教授)

〇効果計測

webを活用し個人の交通行動の変化を集計すると共に 交通量調査(9/8と9/21比較)、公共交通の利用者数を調査





宇治地域通勤マップ

宇治地域に 通勤する方へ

(7)) Pärudneiltäräääää





市役所版



職場MM·久世工業団地(2006)

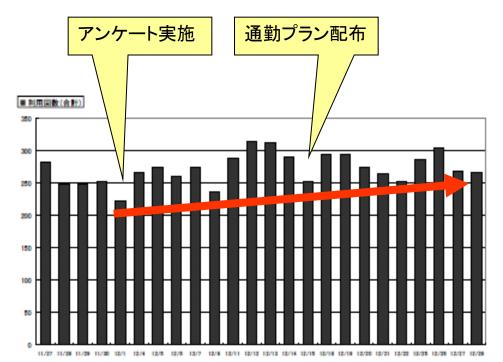
利用促進策としての職場モビリティ・マネジメント

企業の組織的プログラムとして位置づけ、個人のクルマ利用の意識を変える取組をあ わせて展開

- ・ニュースレターの発行
- ・講演会の実施(かしこいクルマの使い方を考える企業の取組)
- ・利用促進のためのコミュニケーションアンケート、通勤プランの提供
- 配布物のデザイン
- ・職場交通プランの作成





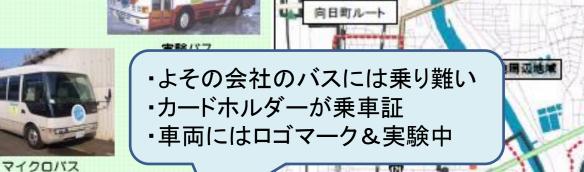


私たちが、みなさんの移動を支えます

実験バス

職場MM·久世工業団地

実験期間:11月28日~12月27日(24日間)





マイクロバス



ワゴン(ジャンボタクシータ



ジャンポタクシー



マイクロバス

01	20本		
MANAGE STATE	20	<u> </u>	
	19		
127	18		
ィブ)	17		
	10		

中型タクシー

「共同送迎バス」はこれらすべての東面の総称です。



◎実験バス

24本/日

竹田ルー

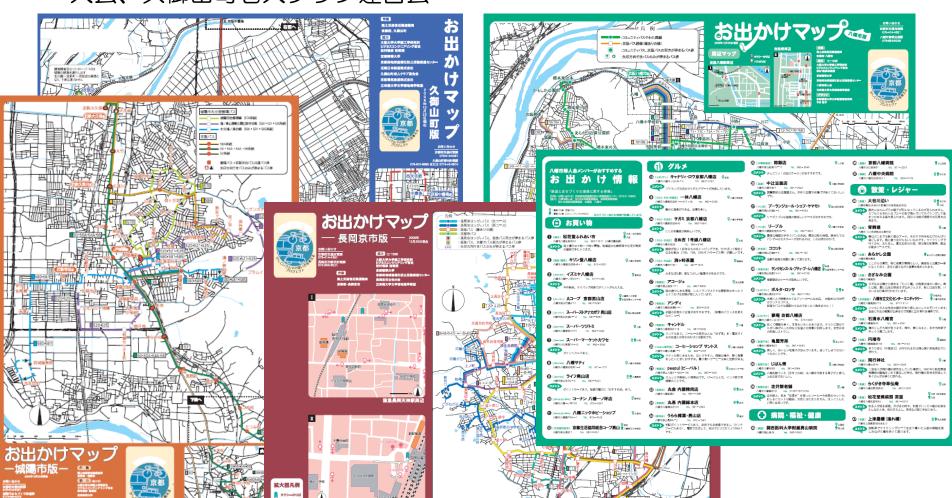
Oマイクロバス

△ジャンボタクシー

▽中型タクシー

居住者MM·京都府南部地域(2006~)

昼間のおでかけに必要な情報を記載したマップをワークショップで制作 参加団体:長岡京市女性の会、相楽郡連合婦人会、城陽市連合女性会、八幡市婦 人会、久御山町老人クラブ連合会





また、の所要

はいいて、また、使用頻度の高いでは、 で説明し、六地蔵を込った。 を立としたバスと験道の路線でで構成。表紙にはバスや電車の利用が二酸について、 がでで構成。表紙にはバスと験道の路線でする、大・世職での利用が二酸にはバス路線や駅では、見開き4が、大・世職を基準であることをイラスト付きなど読が表紙にはバスと鉄道の路線を基準である。

7 3

≡

"

となるこ

3

"

版

は来年 行政関

月

布さ でら 開鉄公式世

n

御止期

III

蔵をの対

上親

バも 開スな経子 人から な軽に公

るれる交代

たの通の

を

母親に

をた 7 使め宇 セいの治 こパ市 スの御 時イ 刻 力 ツ蔵 区御 が蔵 山校 00 出で地球温で地球温で地球温で地球温で 象地 来 完成版が温暖が いの 年 る。両 14化 育児 日の に防

t 布

一京原三条

. □三条京阪





地下鉄のお得な乗車券

■ 市営地下鉄1dayフリーチケット 地下鉄全線が1日乗り送り自由です

◆ 定期券売り場のご案内

■ トラフィカ官カード

京阪電鉄のお得な乗車券



075-692-2360 (銀行権報文の政策 合わせ (風ヤラカバス) http://www.16.pcp.pe.pc/ dairpla.pc/

075-622-4000 http://www.kehen-taxido

075-623-6003 http://www.kvoto-symposis

── 酸蜒コミュニティバス

★ 京都相互タクシー自動車(株)

宇治子育でを楽しむ会

国土交通省 近畿運輸局

字治市 交通政策課 京都府 交通対策課



075-622-4000

▲ 京都相互タクシー日動車(株) 075-623-6003









デザインが交通行動を変える







				/	1		<u> </u>
	17年11月	18年1月	18年2月	18年4月	_18年8月	18年11月	19年2月
寺田鴻ノ巣山線	137.6	138.2	152.1	158.8	228.8	207.8	214.7
水主鴻ノ巣台線			<u>51%</u>	<u>b増</u>	42.6	73.2	73.3
城陽団地線	20.8	16.4	22.1	23.4	29.6	25.0	31.9
合 計	158.4	154.6	174 <mark>.2</mark>	6境 182.2	301.0	306	319.9

京阪・六地蔵駅バス停デザインコンペ(2007) 京都精華大学・コミュニケーション・デザイン学科









Gakken Share EV

社会実験 2010

そこで、青色防犯パトロール車にEVを

- ·京都府内の青色防犯パトロール車の登録台数は、平成22年11月末現在、 103団体478台
- ・醍醐地区、長岡京市、向日市では、京都府地域カ再生プロジェクト支援事業交付金(1/3補助)を活用して、青色防犯パトロール車を導入し、パトロールを実施



- •中古車両
- ・でんき自動車をアピールしたい
- ・ちょっと馬力がない
- ・こどもに愛されるモノに

た部が活動 シング経費も

安いのでは

- ・2人乗れなくてはいけない
- ・空き時間に一般利用が進めば維持費も捻出できるのでは?
- ・継続性を考えると、IT技術の活用や外部委託では経費が高すぎる
- → 防犯役員による予約管理 → 地元店舗&自治会役員による鍵の受け渡し 地域による自主管理 顔の見える・会話のある仕組み



Gakken Share EV

社会実験 2010

ブランド戦略 with GK京都

















Gakken Share EV

社会実験 2010

防犯パトロール











利用説明会

木津川台保育園

新しい通勤バスの開設(2011)

京都らくなんエクスプレス

運行区間:「京都駅八条口」~「京都パルスプラザ・京セラ前」間

所要時間:約15~18分

運行日:平日のみ(主に通勤者を対象)

運行間隔:朝夕15分間隔(ピーク時7.5分間隔)

昼間20分間隔

運行時間:京都駅八条口6:35発~京都

運賃: 大人300円 小児100円

回数券:1冊5000円(300円券18枚

・路線バス事業を始めるには6台

の車両を用意する必要

- ・通勤者のためのバス
- ・新しさをPR

2011年10月15日より実証運行開始(213人よる社会実験)

通勤利便性:京都駅から京セラ・パルスプラザ前まで直行

前乗り先払い方式、運行情報提供、快適な車内

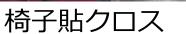
デザインへのこだわり 中古車両のリフォーム











手すり

床仕上げ



停留所

北近畿タンゴ鉄道の再生(2012~)

- ・利用者の減少傾向に歯止めがかからず、運行本数(特急)を減 便する負のスパイラル状態
- ・設備が老朽化し大規模な修繕が必要 (冷房の不具合、車両の傷み)
- 組織と財務の硬直化
- 観光地の魅力の相対的な低下 (海水浴客の減少)
- ・今後、高速道路の延伸により自動車 (元) 速バスが脅威(競争条件の変化)

・社会資本としての安心感

- ・地域の人が使いたいと思う形に
- ・地域の誇りに
- ・都会へ出た子供たちが帰ってこ ようと思う

文 Iエル 回 み ソ、向

「乗って守ろう」の限界

このままでは地域から見放されつつある



丹後くろまつ号(2014)







"交通革新"と "まちづくり" が連携することで、 地域の価値を向上する。

経営ビジョン

高次元公共交通 ネットワークの実現

地域を創生する 若い人の働く場の創造 交通・街づくりを 目指す学生の 教育の場を創造

私たちWILLERグループが目指す地域の価値向上。

それは、利便性の高い高次元交通ネットワークの実現(交通革新)により、ストレスのない便利で自由な移動を沿線地域全体に提供すること。 そして、豊かな自然や食・文化など地域の観光資源をはじめ、それぞれの市町の良さを活かした広域的なまちづくりを行うこと。

これら自治体をはじめ各種事業者と協力の上、「交通革新」と「まちづくり」の連携によるシナジー(相乗効果)を創造することで、沿線で生活している人が望む都市機能・生活水準の向上を実現することにあります。

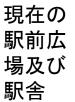
さらに地域の雇用や教育環境づくりにも力を入れ、都心で生活する若い人が移り住みたくなる魅力ある地域への発展につなげてまいります。

◇沿線自治体の取組『海の京都』による戦略拠点の整備



◇天橋立駅前広場及び駅舎の整備(2014)









□ 駅前を白砂青松をイメージした庭園風広場 駅舎は『交流拠点としての駅』をコンセプトに、舟屋の モチーフを活かすよう和のデザインに改装。

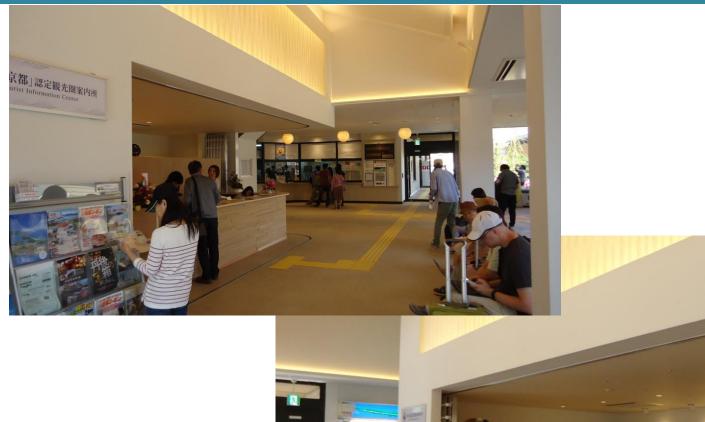
広場と一体的な景観整備を図ることで、駅自体が観 光対象となる交流拠点をめざす

(デザイン:京都造形芸術大学 前田教授)

◇天橋立駅・駅前広場リニューアル

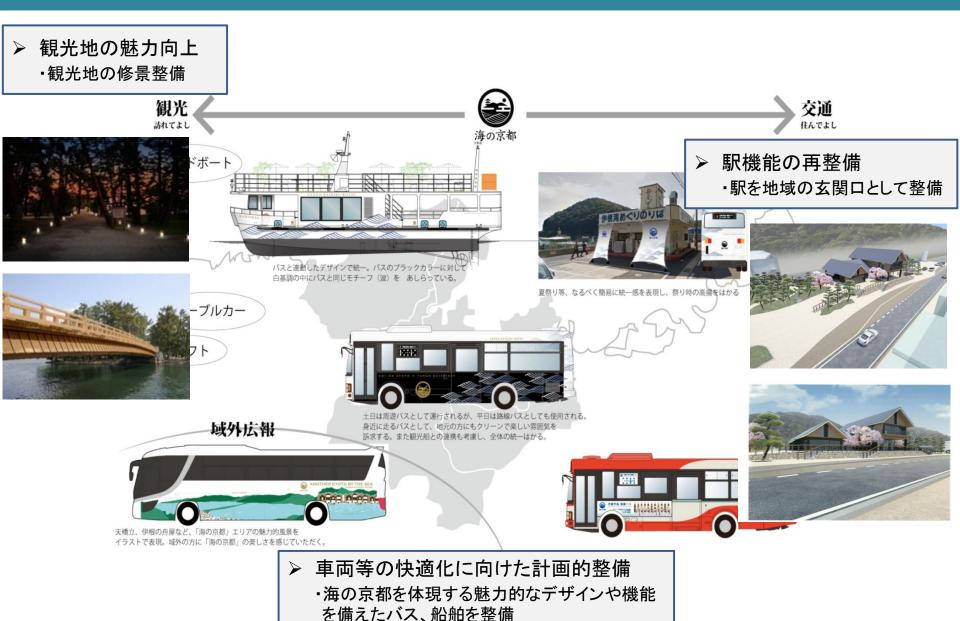


◇天橋立駅ターミナルセンター





◇ 具体的な取り組み例 魅力的で快適な車両等の整備(2014)





さあ、 知と遊の冒険へ

等海の早都博









CONCEPT

海の京都博とは

海の京都

http://www.uminokyotohaku.jp/

- •開会式典/宮津市
- ・メインイベント/京丹後市 タ日ヶ浦・浜詰特設会場
- ・期間中(7月18日~11月15日)、期間前後の各地域でのイベント/福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、 伊根町、与謝野町、各特設会場など

険へ~」を開催します。

力 全 ま 玉 ち 集 に 0 発信する などを 魅 力、 歴 史 知 農 イ 林 文 水 化

北

市

宮

津

市

京

丹

市

伊

11

地域交通再生のデザイン

何のためにやるのか、交通課題の本質を明らかにし、自ら行動 に移す

○交通は派生需要 (本源的需要もあるけれど)

つまり、交通のマネジメント=地域のマネジメント =地域全体のデザインをマネジメント

- ○チームを作って一緒に考える(継続する)・・相互理解が
- 公共交通だけでは解決しない
- 公共交通を単なる輸送装置と捉えない=地域の社会資本
- <u>・設備投資は必要 設備投資をする = 未来を考えること</u>